

開倫塾  
夏期講習会参加の皆様へ

## 開倫塾の教材をすべてやり終えよう ー偏差値65、70突破のポイントー

開倫塾  
塾長 林 明夫

**Q：**開倫塾では、現在の偏差値を素直な気持ちで認めた上で、希望校に合格できるだけの偏差値を確保することを塾生に奨励しているようですね。

**A：**(林明夫：以下省略)その通りです。「ドラゴン桜」ではありませんが、現在の自分の成績、つまり開倫塾の模擬試験などでの偏差値を厳然たる事実として、素直な気持ちで認めることが第一です。

開倫塾では、自分で進学したい学校を「一流校」と「定義(ていぎ)」していますので、よく考えた上で自分が進学したい自分にとっての「一流校」に合格できる偏差値を知ることが第二です。

自分にとっての「一流校」よりも現在の「偏差値」が上回っていればいるほど合格する可能性は高く、差がなかったり届かなかったりしたら合格する可能性が低いことはよくわかりだと思います。

では、どうやって勉強すればよいのか。「ドラゴン桜」ではありませんが、「偏差値」は勉強の方法次第でいくらでも上がりますので、目標とする偏差値を目指し、勉強の方法を変えていくことをお奨めします。

**Q：**えっ、偏差値はいくらでも上がるのですか。偏差値の上げ方がわかっているのなら、それを教えて下さい。

**A：**この「開倫塾ニュース」で私が書き続けている内容を、よく読んで下さい。手元になれば「開倫塾のホームページ([www.kairin.co](http://www.kairin.co))」の「開倫塾ニュース」や「林明夫」のコーナーに掲載しているので参考にして下さい。

**Q：**簡単に言うと、どういうことですか。

**A：**ものごとはすべて科目別に考えます。偏差値 50 を目指す科目(つまり、偏差値が 50 以下の科目)は、「学習の3段階理論」の第一段階である「理解」が不足しています。

その科目を勉強するときにも使っている「教材」を、「うんなるほど」「よくわかった」というレベルまで「理解」することです。「教材」をよく読む。意味や内容がわからなかったら、辞書や参考書で確かめる。どうしてもわからなければ、学校や開倫塾の先生に質問すること。

\*これを使ってこの科目を勉強するのだという「教材」をはっきり決めることも大事です。開倫塾の塾生の皆様は、「学校の教科書」と開倫塾で使用している「教材」で勉強して下さいね。

**Q：**「教材」を「うんなるほど」と「理解」するだけで、どの科目も偏差値50がとれるのですか。

**A：**「うんなるほど」と一度「理解」した内容を、何も見ないでスラスラ正確に言えるようになれば、偏差値 50 はとれます。

**Q：**どのようにしたら、一度「理解」した内容を「何も見ないでスラスラ正確に言えるようになる」のですか。

A：いろいろなやり方があるので、まずは自分で工夫してみてください。私のお奨めする誰でも、どこでもできるやり方は、「音読練習」つまり「大きな声を出して何十回、何百回も読む練習をすること」です。

皆様は若いですから、「理解」しよく内容がわかっていることであればあるほど、何十回、何百回も「音読練習」をすれば、何も見ないでスラスラ正確に言えるようになります。

**Q：本当ですか。**

A：本当です。偏差値 50 以下の科目は、「理解」と「音読練習」が足りないだけです。

＊数学は、「基本的な計算問題練習」を繰り返すこと。

**Q：それでは偏差値55はどのようにして突破したらよいのですか。**

A：「うんなるほど」と「理解」した内容が「音読練習」によって正確に言えるようになったら何十回、何百回も、「書き取り練習」つまり「楷書(かいしょ)で正確に書けるようにすること」で、偏差値 55 は突破できます。

＊数学は、「問題練習」を繰り返すこと。

**Q：「書き取り練習」ですって。全科目でですか。**

A：数学を除き全科目です。英語、国語、理科、社会すべてです。

一度「うんなるほど」と「理解」した内容が口をついて正確に言え、何も見ないで楷書で正確に書ければ、偏差値は誰でも 55 を突破します。

**Q：偏差値60突破は、どのようにしたらよいのですか。**

A：教科書や開倫塾の教材で先生が授業中に教えて下さった問題について、まずは、何回も何回も練習すること。その上で、問題を見た瞬間に条件反射で正解が出るまでに「問題練習」をすること。このような「問題練習」をすることで、偏差値 60 突破は可能になります。

＊数学も同様です。学校と開倫塾の授業中に教わった内容だけでよいですから、この夏休み中に、すべての問題を 5～6 回やり直し、問題を見た瞬間に条件反射で正解が出るまでにしておくことで、偏差値 60 突破が可能です。

**Q：では、最後にお聞きします。偏差値65、70は、どのようにしたら突破できますか。**

A：開倫塾から与えられた教材を、スミからスミまでやり終えることです。

開倫塾のすべての教材は、それをすべてやり終えれば偏差値 70 を突破できるように用意されています。ですから、開倫塾の教材をスミからスミまで迷うことなくひたすらやり終えることに、全力を投じて下さい。

英語、数学も含めてすべての開倫塾の教材をスミからスミまでやり終えて、偏差値 65、70 を突破して下さい。その場合も、「うんなるほど」と「理解」し、「音読練習」「書き取り練習」「問題・計算練習」で「理解」できた内容を完全に「定着」させること。できなかった問題は繰り返し繰り返し学習し、問題を見た瞬間に条件反射で正解できるまでにするをお忘れなく。

少しでもわからないことがあれば、開倫塾の先生に遠慮なく質問して下さいね。

**Q：なぜ、問題を見た瞬間に条件反射で正解が出せるようにしておいた方がよいのですか。**

A：試験時間は限られていますから、問題を見た瞬間に何も考えずに条件反射で  $5 \times 2 = 10$  のように「パッ、パッ」と正確に答えられる問題が多ければ多いほど、初めて出会った問題やじっくり取り組んだ方がよいと思われる問題に時間がかけられるからです。

「練習、練習、また練習」は、「ゆとり」を生み、皆さんの創造力を発揮させますよ。

Q：最後に質問。このような勉強は社会に出て役に立ちますか。また、受験勉強は社会に出て役に立ちますか。

A：塾生の皆様が小学校や中学校、高校で今やっている勉強はすべて世の中に出て役に立ちます。高校3年生までの学習内容を正確に身に付けてはじめて、「知識社会」に対応できます。

勉強の内容も大事ですが、最も大事なものは、自分で勉強する能力です。社会に出ると、解決しなければならない問題が毎日毎日山のように出てきます。どのような問題も難しいことばかりなので、自分の力で勉強し続けなければ解決できず、問題はどんどん先送りになってしまいます。そこで大事なのが、自分の力で勉強する能力、つまり「自己学習能力」です。では、その能力を身に付けるにはどのようにしたらよいか。具体的な内容として開倫塾で示しているのが、この「学習の3段階理論」です。

この「学習の3段階理論」はどのような勉強に取り組む際にも必ず役に立ちますので、開倫塾の塾生として開倫塾で勉強している間に少しでも多く身に付けて下さいね。

開倫塾の先生方の願いは、高校3年生までに、塾生の皆様の「自己学習能力を育成」し、大学に進学して頂くことです。このような意味で塾生の皆様の「成功の実現に貢献すること」が、開倫塾の「社会的使命(mission ミッション)」と考えています。

頑張ってくださいね。